

人外

『美女と野獣 七つの美しいお姫さま物語』
ポーモン夫人ほか作 巖谷國士ほか訳 佐竹美保絵 講談社青い鳥文庫 2017 より

『美女と野獣』ポーモン夫人作 巖谷國士訳

薔薇を盗んでしまった罰を受けるために、恐ろしい野獣の屋敷を訪れたベルは、思いがけないすてきなおもてなしを受ける。不器用な野獣のやさしさにふれるうち、ベルは野獣に恋をする。2017年の実写映画化でも話題！

『人魚姫』アンデルセン作 立原えりか訳

15歳になり、初めて海の上に行った人魚姫が出会ったのは、人間の王子様だった。王子様に心を奪われてしまった人魚姫は人間になることを決意するが…。

先生と生徒

『ナラタージュ Naratage』島田理生著 角川文庫 2008

高校時代、工藤泉は、所属していた演劇部顧問の葉山先生に想いを寄せていた。それは大学になっても変わることはなかった。そんなとき、葉山先生から、演劇部の助っ人を頼まれ…。切なく苦しい教師と元教え子の恋。

『夜明けまで1マイル Somebody loves you』村山由佳著 集英社文庫 2005

大学生の涯は、大学の講師マリコさんに想いを寄せているのだが、マリコさんには夫がいる。マリコさんとの関係に悩みながらも、バンドメンバーで、自分を何かと頼ってくる幼馴染のウサギのことも気になり始め…。

『聊齋志異上・下』蒲松齡著 立間祥介編訳 岩波文庫 1997

絶世の美女が自分の妻に…喜んでいるのも束の間、化けの皮をはいでみたら、実は妻は、きつねや鬼、幽霊だった！？ちょっとふしぎで恐ろしい恋の話が多数収録。

『トワイライト Twilight上・下』ステファニー・メイヤー著 小原亜美訳 ヴィレッジブックス 2008

雨と霧の町フォークスに引っ越してきた17歳のベラが学校で出会ったのは、美男美女集団のひとり、エドワード。しかし、エドワードは恋してはいけない相手だった！美しく完璧な顔に隠された美少年エドワードの秘密とは…。

漫画『火の鳥 復活・羽衣篇』手塚治虫著 角川書店 1986

事故にあい、頭に人工知能を埋め込まれてしまったレオナは、人を人として認識できなくなってしまふ。そんな彼が恋したのは、ロボットのチヒロだった。

『センセイの鞆』川上弘美著 文春文庫 2004

居酒屋で飲んだり、いろんなところにお出かけしたり…ときには口をきかない険悪な日も…。かつての高校教師センセイと生徒ツキコ、すっかりおとなになった（センセイは初老？）ふたりのゆったりとした会話、関係がほほえましい1冊。

同性愛

～男性同士～

『仮面の告白』三島由紀夫著 新潮文庫 1967

女性に恋することはあっても、身体が不能で、身体が惹かれてしまうのは、男性だけ…ということに気づいた青年の葛藤の日々を描いた1冊。

『少年と少女のボルカ』藤野千夜著 講談社文庫 2000

物心ついた頃から男の子が好きなトシヒコと、自分のことを女の子だと思っているアキオ、悩めるふたりの恋と性のおなはし。

兄妹

『焚火の終わり上・下』宮本輝著 集英社文庫 2000

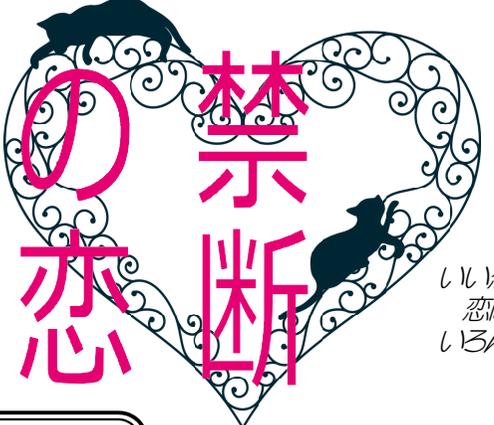
異母兄弟だと伝えられ、今まで過ごしてきた茂樹と美花。しかし、美花はずっと違和感を感じていた。わたしの父と母は別にいるんじゃないのか？互いを想い合う茂樹と美花は自分たちの出生の秘密を探ることにしたが…。

『屋根裏部屋の花たち Flowers in the Attic』ヴァージニア・クレオ・アンドリュース著 中川晴子訳 扶桑社文庫 1999

祖母の家の屋根裏部屋に軟禁されてしまった私と兄、双子の弟と妹。祖母からのひどい扱いを受ける4人の辛い3年間を描いた物語。閉ざされた狭い空間のなかで私と兄は互いに背徳な関係になっていく…。

『鱗姫』嶽本野ばら著 小学館文庫 2003

体の皮膚が鱗化する、龍鳥家の女性に代々伝わる奇病「鱗病」を発病してしまった様子。愛する実の兄琳太郎にこの醜い姿をさらすわけにはいかないと、鱗化を食い止める方法を叔母から教えてもらうが…。



はと時計10月号

松蔭中高図書館 2019年10月4日発行 library@shoin-jhs.ac.jp 担当：川内

みなさん、いい恋してますか！？ 恋には、愛には、いろんな形があります。

『箱の中』木原音瀬著 講談社文庫 2012

刑務所の中で出会った、堂野と喜多川。冤罪でつかまってしまい、絶望する堂野だったが、不器用だけどやさしく接してくれる同部屋の喜多川に、特別な想いを馳せていく…。切ないふたりの純愛に思わず涙！

『きらきらひかる』江國香織著 新潮文庫 2007

男の恋人がいるホモの睦月と鬱病でアル中の笑子は夫婦である。互いを承諾し合い、互いになんにも求めない、なんにも望まない結婚、ずっとこのままでいたい2人を世の中は許してくれなくて…。

出産

『徴産制』田中兆子著 新潮社 2018

突如流行した「スマダインフルエンザ」により、若い女性が大量感染死。その解決策として、2092年、満18歳以上、31歳未満の男子すべてに、最大24ヶ月間「女」になる義務を課す制度が可決。とまどいながらも、制度を受け入れ、妊婦になる、住む場所も立場も異なる5人の男子のおはなし。

『殺人出産』村田沙耶香著 講談社 2014

人工授精での出産が当たり前になり、偶発的な妊娠が減り、極端に人口が減ったために施工された、10人産めば、人を1人殺してもいい「産み人」制度（『殺人出産』）や10代の間で最近流行っている、3人で交際する「トリプル」（『トリプル』）など、奇妙でありえない！世界を描いた4編。

～女性同士～

『花』谷崎潤一郎著 岩波文庫 1985

柿内園子は、習い事で通い始めた美術学校で徳光光子という女性に恋をする。結婚し、夫のいる園子は、夫に後ろめたさを感じながらも魔性的な光子にどんどんはまっていく。そんな光子にも実は付き合っている男の人がいて…。

『青年のための読書クラブ The Reading Club for the Yourth』桜庭一樹著 新潮文庫 2011

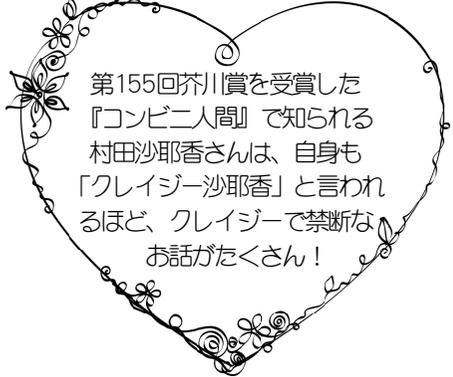
東京にある女学校、聖マリアナ学園の、正史に残ることのない珍事件について代々の部員が書き残した暗黒の読書クラブ史。そこには毎年生徒の中から選出され、女子たちから恋い慕われる「王子」の話をはじめ、歴代の聖マリアナ学園の禁断の恋や秘密がたくさん！

『キャロル』パトリシア・ハイスミス著 柿沼瑛子訳 河出書房新社 2015

舞台芸術家の卵テレーズは、ある日、キャロルという年上の女性と出会う。結婚して子どもがいるキャロル、婚約者がいるテレーズだったが、ふたりは、互いに惹かれあっていく。自身も同性愛者である著者が、初めは名前を変えて出版した恋愛小説！2015年映画化！2016年アカデミー賞ノミネート作品！

『消滅世界』村田沙耶香著 河出文庫 2018

実験都市「楽園（エデン）」に移住してきた雨音。ここでは、みな人工授精で子供を産み、さらには男性も妊娠・出産が可能。そして、生まれた子供は、その都市に住むみんなの子供「子供ちゃん」として、センターに預けられ、どの子も同じように愛情を注がれ育てられる。果たしてそこは本当に楽園なのか…。



親子

～母と息子～

『エルメス伯爵夫人の恋』藤本ひとみ著 新潮文庫 2004

エルメス家に仕える乳母マ・メールの手紙で明かされる、エルメス伯爵サンテの連れ子エザンスとの禁断の恋に翻弄される伯爵夫人プリユネルの切ない恋物語！

～父と娘～

『私の男』桜庭一樹著 文春文庫 2010

震災で家族を失った花を養子として引き取った腐野淳吾。淳吾もまた、自身の両親を亡くしていた。愛を追い求める孤独なふたりの、だれも踏み込むことのできない禁忌的な関係を時系列を遡りながら描く。第138回直木賞受賞作。

『まいごのねこ ほんとうにあった難民のかぞくのおはなし』

ダグ・カンツ、エイミー・シュローズ文 スー・コーネリソン絵 野沢佳織訳

岩崎書店 2018

少し前まで連日ニュースで取り上げられていた難民問題も、テレビなどで見かけることも今はほとんどない。では、解決したのか。中東をはじめとする諸国で戦乱状態は続いているので、解決しているわけではない。現地の人々は相変わらず不安と混沌の日々を過ごしている。難民が流れ着くギリシャやイタリアも、難民が最終地点として目指すヨーロッパ各国、特にドイツも、国民が強い不満を抱くほどにあふれる難民に頭を抱えている。しかし、日本では遠い国の事として強い関心を示さず、この問題は流行のように報道されては消えていく。

難民問題は、国や地域の問題であり、個人の問題でもある。「難民」という人間はおらず、全ての人間は、例えば「門前佐智子」のような異なる一人一人なのだ。つまり難民問題とは一人の人間の生き方の問題なのだ。この作品は、何の変哲もない家族が「難民」となる過程をとてもソフトに描いている。たくさんの幸運と善意を描いている。しかし、要所要所に隠れているたくさんの悪意と



困難に気づきながら読んでほしい。この美しいストーリーは、実は美しくない事実にもとづいている。そもそも起きてはならないものなのだ。

門前佐智子

『女性のための鉄道旅行入門』

蜂谷あす美著 天夢人 2019

新幹線に乗るとき、トイレに行きやすい席はどれ？東海道新幹線で富士山を見られる席は？駅そばを列車まで届けてくれる駅はどこ？二股に別れているルートは海沿いなら絶景が楽しめるからおススメ。

片道100キロ以内ならダメだけどそれ以外のキップは途中下車（乗車券の区間内で改札を出ること）が何回でもできるって知ってた？

JR四国のパスディ切符は利用開始日が誕生日を含む場合に購入でき、JR四国全線（特急含む）と一部私鉄まで3日間使えるお得なチケット。同行者3名分まで使えるから、友達の誕生日、知っておくと

いいかも。ほかにもお得なチケットや女性ならではの荷造りのコツやトイレ対策が載っています。



『ケーキの切れない非行少年たち』

宮口幸治著 新潮新書 2019

少年院で円を書いた紙を渡されて三等分してほしいと言われた少年は、できませんでした。この本には少年たちの「三等分」の絵が載っています。どうしてこんな簡単な問題ができないのか（中高生の年齢なのに）。人を殺していても自分はやさしい人間だと言ってしまう。だまそう、とりつくろうとして言っているのではなく、自分のしたことが理解できていない。

彼らはただほめて自信を持たせる教育だけでは不十分で、どうしたら彼らを支援し、教育できるのか。一日5分で認知機能が向上するトレーニングが載っています。どうせ、俺たちは何をやってもダメと投げやりになっていた少年たちが眼を輝かせて取り組むようになりました。



『歴史を変えた50人の女性アスリートたち』

レイチェル・イグノトフスキー著 野中モモ訳 創元社 2019

今年の大河ドラマ「いだてん」で人見絹枝という女性選手が日本で初めてオリンピックに参加し、100メートルでまさかの予選落ちしてしまい、練習もしていない800メートルに出させてほしいと涙ながらコーチに懇願していたシーン、「男は負けても帰れるでしょう！でも女は帰れません！負けたら、やっぱり女はダメだ、男の真似して走っても役に立たない、と笑われます！日本の…女子選手全員の希望が、夢が…」ダンサーの菅原小春さん、すばらしい演技でした。



女性を締め出していた近代スポーツ界に飛び込み、記録と歴史をぬりかえてきた50人の偉大な女性選手の人生。女性柔道家として初めて十段を取った福田敬子、初めてエベレスト登頂に成功した田部井淳子ほか、「前畑ガンバレ」の彼女も紹介されています。

かぼちゃのランタン つくります。

10月18日（金） 13時～



美術の宮崎先生が指導してください。汚れてもいい服装でください。

2019年（令和元年）10月4日発行 松蔭中高図書館広報誌
はと時計216号